

ソーシャルワーク論 I

授業概要

毎回の授業は、教員からの講義が中心となります。受講生の興味関心や習熟度によっては、予定している内容の一部差し替えや、ビデオ学習、レポート提出なども計画しています。

授業計画

1. ソーシャルワークとは何か（その1）
—社会福祉と社会福祉実践—
2. ソーシャルワークとは何か（その2）
—社会情勢及び暮らしの変化—
3. ソーシャルワークとは何か（その3）
—ソーシャルワークの構成要素—
4. ソーシャルワークの構造
5. ソーシャルワークにおけるニーズ
6. ソーシャルワークの機能
7. ソーシャルワークの形成史（その1）—海外—
8. ソーシャルワークの形成史（その2）—日本—
9. 人と環境の交互作用（その1）—実践における人と環境—
10. 人と環境の交互作用（その2）—C.B.ジャーメインの理論—
11. 人と環境の交互作用（その3）—人と環境の全体性—
12. ソーシャルワークの実際
13. ソーシャルワーカーの役割
14. ソーシャルワーカーの倫理
15. 事例検討・まとめ

担当教員 *teacher in charge*

齋藤 征人

北海道教育大学函館校
地域政策グループ 准教授



到達目標

1. ソーシャルワークとは何か説明できる。
2. ソーシャルワークの成り立ちに関心を持つことができる。
3. 人と環境の交互作用に着目することの意義を理解できる。

成績評価

- ①受講状況・態度(30%)
 - ②定期試験(60%)
 - ③提出物(10%)
- によって評価します。

ただし、評価には3分の2以上の出席が必要です。やむを得ない理由により欠席した場合は、課題提出をもって出席に代えることがあります。